



クサビフグ *Ranzania laevis*

採捕年月日：2007年12月23日

採捕場所：秋田市と潟上市との間の砂浜に打ち上げられていたものを確保

全長 398mm, 体長 364mm

フグ目マンボウ科クサビフグ属に属する。唇が歯より前方に伸び、漏斗状になっている。体下方の前方部に不定形波状の複数の縦線が認められる。マンボウより体高が低く細長い。胸鰭は伸長し、舵鰭（尾部の鰭）は切り落とされたように直線的。

琉球列島以南の世界中の熱帯域に分布する。全長 20cm 前後の幼魚の採捕記録は和歌山県白浜沖（2007年12月20日）、高知県土佐清水沖（2007年6月5日）、岩手県大船渡沖（2006年8月18日）、三宅島周辺海域（2006年6月）などから記録がある（以上、ネット検索による）。

今回の個体は秋田県初記録であるとともに、本邦北限の記録と推察される。本個体の体表はかなり擦れて出血しており、水温が低下し（12月23日の男鹿市船川港台島地先水温 10.3℃）たことにより打ち上げられたと推察される。